

ボーリング柱状図

調査名 主要地方道 西城比和線 設計地質調査業務委託(道路改良・公共)

ボーリングNo																				
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 設計地質調査業務委託

シートNo

ボーリング名	B-1		調査位置	庄原市比和町三河内坊地工区 (No.20+10.0m R 28.2m)			北緯	34° 58' 9.9"					
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所				調査期間	平成 27年 7月 9日 ~ 27年 12月 18日		東経	133° 2' 27.3"				
調査業者名	照査技術者				管理技術者	コア鑑定者		ボーリング責任者					
孔口標高	625.83m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 30°	使用機種	試錐機	東邦D-1	ハンマー 落下用具	半自動	
総掘進長	12.00m	度	0°	向				エンジン	YANMAR-NS60	ポンプ	東邦BG-3		

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験	掘進
											深 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	値					
1	624.03	1.80	1.80		暗褐色				全体に有機質。礫は径0.5~3cmの硬質角礫を10~20%、砂分を40%位含有する。	8/10 8.60	1.15	2	2	5/30	5				
2					暗褐色				崖錐堆積物。全体に著しく不均質。礫は径0.5~3cmの硬質角礫を30%位含有し、砂分は30%位、含有する。		1.45	2	3	4	9/30	9			
3					暗褐色						2.45	4	4	3	11/30	11			
4					暗褐色						3.15	4	4	3	11/30	11			
5					暗褐色						3.45	2	3	3	8/30	8			
6	619.73	4.30	6.10		主に淡青灰				風化及び熱水変質の影響で硬質部と軟質部が混在する不均質な岩体であるが、岩組織は概ね残存。全体に送水掘り短棒状コアで採取。軟質部は指圧で潰せる。		4.15	2	3	8/30	8				
7					主に淡青灰						4.45	4	5	6	15/30	15			
8					主に淡青灰						5.15	4	5	6	15/30	15			
9	616.33	3.40	9.50		淡青灰				送水掘り短棒状コアとして採取。礫は径1~5cmの硬質角礫からなる。土工区分は軟岩。岩級区分はD~C1級。		5.45	8	11	11	30/30	30			
10					淡青灰						6.15	8	11	11	30/30	30			
11					淡青灰						6.45	14	21	15	50/29	52			
12	613.83	2.50	12.00		淡青灰						7.15	5	4	5	14/30	14			
13					淡青灰						7.44	8	9	12	29/30	29			
					淡青灰						8.15	5	4	5	14/30	14			
					淡青灰						8.45	8	9	12	29/30	29			
					淡青灰						9.15	8	9	12	29/30	29			
					淡青灰						9.45	20	12	18	50/24	63			
					淡青灰						10.15	16	18	16	50/25	60			
					淡青灰						10.39	16	18	16	50/25	60			
					淡青灰						11.13	16	18	16	50/25	60			
					淡青灰						11.40	貫入不能			0				
					淡青灰						12.00	貫入不能			0				